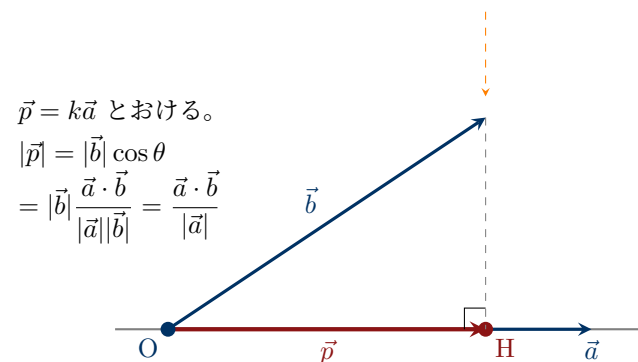


1. 正射影ベクトル (Orthogonal Projection)

あるベクトル \vec{b} に光を当てたとき、もう一方のベクトル \vec{a} 上にできる「影」のようなベクトルを正射影ベクトルという。「垂線の足」を求める計算において最強の道具となる。



正射影ベクトルの公式

ベクトル \vec{b} の、ベクトル \vec{a} 上への正射影ベクトル \vec{p} は

$$\vec{p} = \left(\frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}|^2} \right) \vec{a}$$

覚え方： \vec{p} は \vec{a} と平行なので $\vec{p} = k\vec{a}$ の形。係数は「内積 ÷ 大きさの 2 乗」。

例題 1

$\vec{a} = (1, 2, 2)$, $\vec{b} = (2, 5, -1)$ のとき、

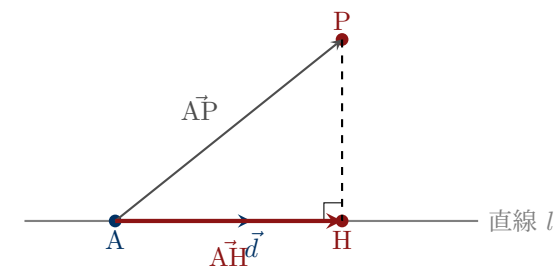
- (1) \vec{b} の \vec{a} 上への正射影ベクトル \vec{p} を求めよ。
- (2) $\vec{b} - \vec{p}$ の大きさを求めよ (これが \vec{b} の始点から \vec{a} への垂線の長さになる)。

Memo / Answer

2. 空間における点と直線の距離

点 P から直線 l (方向ベクトル \vec{d} , 通過点 A) に下ろした垂線の足 H は、正射影ベクトルを使えば一発で求まる。

$\vec{AH} = (\vec{AP} \text{ の } \vec{d} \text{ 上への正射影})$



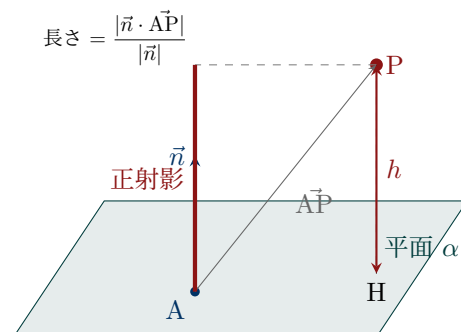
例題 2

点 A(1, 0, 0) を通り、方向ベクトル $\vec{d} = (2, 1, -2)$ の直線を l とする。原点 O から直線 l に下ろした垂線の足 H の座標と、距離 OH を求めよ。

Memo / Answer

3. 点と平面の距離

点 P から平面 α (法線ベクトル \vec{n}) までの距離 h は, \vec{n} 方向への正射影の大きさとして捉えることができる。



点と平面の距離 (ベクトル形式)

点 A を通る平面 (法線 \vec{n}) と, 任意の点 P との距離 h は

$$h = \frac{|\vec{n} \cdot \vec{AP}|}{|\vec{n}|}$$

これは \vec{AP} の \vec{n} 上への正射影ベクトルの大きさに等しい。これを成分計算すると, 公式 $h = \frac{|ax_1 + by_1 + cz_1 + d|}{\sqrt{a^2 + b^2 + c^2}}$ が導かれる。

例題 3

4 点 $O(0, 0, 0)$, $A(1, 2, 0)$, $B(2, 0, 1)$, $C(0, 1, 2)$ を頂点とする四面体 $OABC$ について, 以下の問に答えよ。

- (1) $\triangle OAB$ の面積 S を求めよ。
- (2) 点 C から平面 OAB に下ろした垂線の長さ h を求めよ。
- (3) 四面体 $OABC$ の体積 V を求めよ。

Memo / Answer

方針:

$$(1) S = \frac{1}{2} \sqrt{|\vec{a}|^2 |\vec{b}|^2 - (\vec{a} \cdot \vec{b})^2}$$

(2) 平面 OAB の法線ベクトル \vec{n} を求める (垂直条件 or 外積)。その後, 距離の公式 $h = \frac{|\vec{n} \cdot \vec{OC}|}{|\vec{n}|}$ を使う。

参考: なぜ絶対値?

公式の分子に絶対値がついているのは, 法線ベクトル \vec{n} と \vec{AP} のなす角 θ が鈍角 ($90^\circ < \theta \leq 180^\circ$) になる場合, 内積が負になるからである。距離は常に正の値でなければならない。

確認テスト A (基本)

練習 A1

$\vec{a} = (3, 4, 0)$, $\vec{b} = (5, 0, 10)$ とする。 \vec{b} の \vec{a} 上への正射影ベクトル \vec{p} を求めよ。

練習 A2

点 $P(1, -2, 3)$ と, 平面 $2x - y + 2z + 5 = 0$ の距離 h を求めよ。

Memo / Answer

確認テスト B (標準)

練習 B1

2 点 $A(0, 1, 2)$, $B(2, 3, 0)$ を通る直線 l がある。原点 O から直線 l に下ろした垂線の足 H の座標を求めよ。

練習 B2

空間内に 3 点 $A(1, 0, 0)$, $B(0, 1, 0)$, $C(0, 0, 2)$ がある。

- (1) 3 点 A, B, C を通る平面 α の方程式を求めよ。
- (2) 原点 O から平面 α に下ろした垂線の足 H の座標を求めよ。

Memo / Answer

確認テスト A (基本) 【解答】

練習 A1

$\vec{a}(3, 4, 0), \vec{b}(5, 0, 10)$ の正射影 \vec{p}

Memo / Answer

公式 $\vec{p} = \frac{\vec{a} \cdot \vec{b}}{|\vec{a}|^2} \vec{a}$ を用いる。 $|\vec{a}|^2 = 3^2 + 4^2 + 0^2 = 9 + 16 = 25$ $\vec{a} \cdot \vec{b} = 3 \cdot 5 + 4 \cdot 0 + 0 \cdot 10 = 15$
係数は $\frac{15}{25} = \frac{3}{5}$ よって $\vec{p} = \frac{3}{5} \vec{a} = \frac{3}{5}(3, 4, 0) = (\frac{9}{5}, \frac{12}{5}, 0)$ 答 $(\frac{9}{5}, \frac{12}{5}, 0)$

練習 A2

点 $(1, -2, 3)$ と 平面 $2x - y + 2z + 5 = 0$ の距離

Memo / Answer

点と平面の距離の公式より $h = \frac{|2(1) - 1(-2) + 2(3) + 5|}{\sqrt{2^2 + (-1)^2 + 2^2}} = \frac{|2 + 2 + 6 + 5|}{\sqrt{4 + 1 + 4}} = \frac{|15|}{\sqrt{9}} = \frac{15}{3} = 5$
答 5

確認テスト B (標準) 【解答】

練習 B1

直線 AB に原点から下ろした垂線の足 H

Memo / Answer

直線 AB の方向ベクトル $\vec{d} = \vec{AB} = (2, 2, -2)$ 。計算を楽にするため $\vec{d}' = (1, 1, -1)$ を使う。
 \vec{AH} は、 \vec{AO} の \vec{d}' 上への正射影ベクトルである。 $\vec{AO} = (0, -1, -2)$ $|\vec{d}'|^2 = 1 + 1 + 1 = 3$
 $\vec{d}' \cdot \vec{AO} = 1(0) + 1(-1) + (-1)(-2) = 1$ よって $\vec{AH} = \frac{1}{3} \vec{d}' = (\frac{1}{3}, \frac{1}{3}, -\frac{1}{3})$ $\vec{OH} = \vec{OA} + \vec{AH} = (0, 1, 2) + (\frac{1}{3}, \frac{1}{3}, -\frac{1}{3}) = (\frac{1}{3}, \frac{4}{3}, \frac{5}{3})$
答 $H(\frac{1}{3}, \frac{4}{3}, \frac{5}{3})$

練習 B2

$A(1, 0, 0), B(0, 1, 0), C(0, 0, 2)$ (1) 平面 α (2) 垂線の足 H

Memo / Answer

(1) 切片形より $\frac{x}{1} + \frac{y}{1} + \frac{z}{2} = 1$ $2x + 2y + z - 2 = 0$ 答 $2x + 2y + z - 2 = 0$
(2) 平面の法線ベクトルは $\vec{n} = (2, 2, 1)$ 。直線 OH は原点を通り \vec{n} に平行なので $H(2k, 2k, k)$ とおける。H は平面上にあるので代入： $2(2k) + 2(2k) + k - 2 = 0$ $4k + 4k + k = 2 \implies 9k = 2 \implies k = \frac{2}{9}$ よって $H(\frac{4}{9}, \frac{4}{9}, \frac{2}{9})$
答 $H(\frac{4}{9}, \frac{4}{9}, \frac{2}{9})$